

町 長	副町長	院 長	副院長	事務長	次 長	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議		文書番号
			平成 31 年 5 月 24 日
名 称	令和元年度 第 1 回 上富良野町立病院運営審議会		
日 時	令和元年 5 月 22 日 (水) 18 時 15 分から 19 時 00 分		
場 所	役場 2 階審議室		
出席者	町長、北川委員長、鎌田副委員、巽委員、北野委員、大道委員 事務長、次長、末永主査、松田主事		
内 容	<p>○委嘱状交付 任期満了に伴い、5 名の委員を任命した。(全員再任)(期間 令和 3 年 5 月 21 日まで)</p> <p>○町長挨拶 町長、挨拶後退席。</p> <p>○委員長互選及び職務代理の氏名 委員の互選により委員長に北川氏、職務代理に鎌田氏が就任した。</p> <p>○委員長挨拶</p> <p>○事務局の人事異動等別紙により報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以降委員長の進行により議題を審議 <p>1 平成 30 年度町立病院の患者数と病院事業会計決算概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙資料により説明、概要は次のとおり。 ・平成 30 年度の決算見込みは、事業収益 832,799 千円、事業費用 900,748 千円となり、当期純損失は、67,949 千円となる。累積欠損額は 952,247 千円 <p>※質疑等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巽委員～毎年度赤字決算となっている。経営改善策を示すべきである。累積欠損額も 9 億 5 千万となり、対応が必要である。中富良野は毎年町の方で補てんして赤字を解消している。上富良野町も町として累積欠損の解消を図るべきである。 <p>⇒平成 25 年から赤字決算が続いている。経費の削減(特に人件費)はこれ以上は困難であり、収益については一般病床の入院者数が年々減少している。抜本的に病床構成等を見直しが必要である。累積欠損の解消等のご意見は町長に伝え検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌田委員～本年度の機器購入の予定は。また、建て替えのスケジュールは。 <p>⇒本年度は 10,000 千円の事業費で補助金を受けて、計画的に医療機器を更新していきたい。整備のスケジュールは、平成 37 年 6 月までのスプリンクラー設置</p>		

の期限があることから、それに合わせて、整備しなければならない。仮に建替えとなると逆算して平成34年頃から工事を始めなければならないが、現在整備方法等について検討中なので方向性が決定しましたら、また報告したい。

・ 異委員～町立病院の残高試算表は資料として審議会に提出できないか。

⇒次回資料として提供したい。

・ 異委員～建設に係る補助金はあるのか。

⇒病院については収益事業のため、基本的には国の補助制度はない。防衛関係の補助金（防音）はあるが、昭和54年に建設した際、防音補助金を活用しているため、制度上再度の補助金は交付対象とならない。多くが企業債で賄わなければならない。

・ 決算について以上審議をいただき承諾を得た。

2 その他

・ 看護師の奨学金を貸付を行っている2名のうち1名の方が都合により、看護学校を退学し、奨学金貸付の中止の申し出があった旨、報告。

※審議会終了後、町長、病院職員との意見交換会を実施